

令和7年度

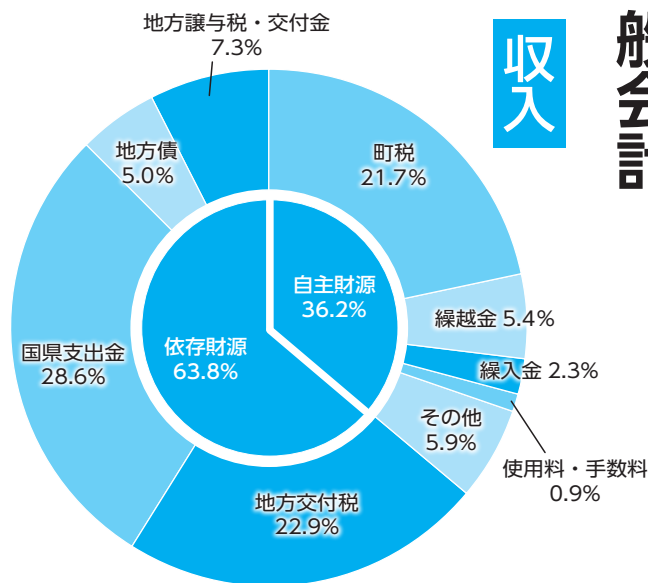
決算報告

9月の定例議会で、令和7年度の一般会計と2つの特別会計、2つの公営企業会計の決算が認定されました。その主な内容をお知らせします。

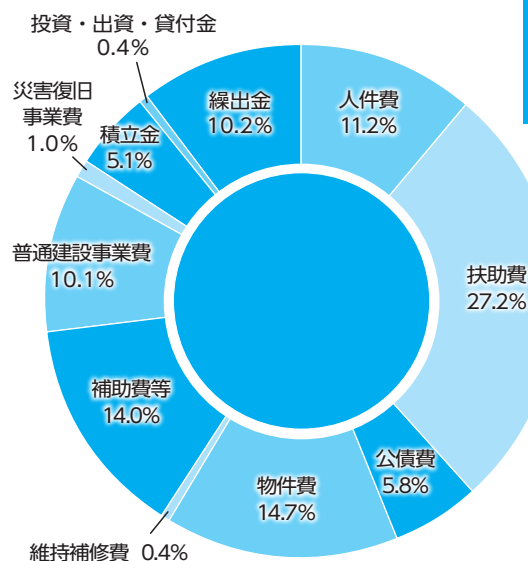
問い合わせ 総務課

一般会計

収入



支出



一般会計支出総額 141 億 5,341 万円

一般会計収入総額 148 億 4,944 万円

決算の概要

令和7年度の一般会計決算は、収入総額が148億4,944万円、支出総額が141億5,341万円、差引額が6億9,603万円となりました。

収入

●自主財源

国の定額減税による影響が小さくなったことで町税が増加したほか、小・中学校の給食費の公会計化でその他の項目の諸収入が増加しました。

●依存財源

物価高騰対策や児童手当拡充などの影響で国庫支出金が増加したほか、小・中学校の体育館空調整備の影響で地方債が増加しました。

支出

前年度に比べ、保育所等運営委託料や障がいのある人への支援サービスの増加などで補助費が大きく増加しました。また、小・中学校の体育館空調整備の実施などで普通建設事業費が増加したほか、令和7年8月の大雨の影響で災害復旧事業費が増加しました。

【実質収支】

収入と支出の差引額から令和8年度に繰り越す必要がある1億4,974万円を除いた、5億4,629万円となりました。

表1 実質単年度収支の算出

	令和6年度	令和7年度
実質収支	① 5億 8,617 万円	② 5億 4,629 万円
単年度収支	4,578 万円	③ △ 3,987 万円 (②-①)
財政調整基金積立	1億 585 万円	④ 1億 490 万円
財政調整基金取崩	—	⑤ —
実質単年度収支	1億 5,163 万円	6,503 万円 (③+④-⑤)

令和6年度の実質収支は5億8,617万円、令和7年度は財政調整基金に積み立てた額が1億4,900万円、取り崩した額が0円であったため、令和7年度の純粋な収支である実質単年度収支は6,503万円の黒字となりました(表1)。

※数値の表示単位未満を四捨五入しているため、内訳や差引額などが一致しないことがあります。



- ①照明をLED化した町民総合グラウンド
- ②令和7年度から新たに開所した民間保育所
- ③空調設備が導入された体育館で部活動をする子どもたち
- ④新たに納車されたコミュニティバス

こんなことに取り組みました

岡垣町の未来のために

長引く原油価格や物価の高騰などの影響で、住民生活は依然として厳しい状況にあることから、必要な対策を講じてきました。また、人口減少が進む中でも持続可能なまちづくりを進めるため、数十年前の岡垣町を見据え、今必要な施策を着実に実行しながら、住民の幸福度を高める取り組みを行いました。

具体的には、令和6年度からの繰越事業を含め小・中学校の体育館の空調設備の導入、町民総合グラウンドの照明のLED化、西鉄バスの松ヶ台循環線廃止に伴うコミュニティバスによる運行、JR海老津駅の周辺整備、海老津第三学童保育所の開設、第3子の保育料の無償化をはじめとする子育て支援施策などを実施しました。また、国の総合経済対策に伴う物価高対応子育て応援手当の給付のほか、町独自の物価高騰対策として、住民生活応援クーポン事業、物価高騰緊急支援プレミアム商品券事業、水道料金の特例減額事業を実施しました。さらに、昨年8月の大雨災害に関する復旧事業などに取り組みました。



自然を守り、活かし交流を生むまち

■三里松原と美しい海岸の保全事業 593 万円

各協議会と連携して松葉かきやラブアース・クリーンアップを実施したほか、国・県に対して三里松原保全に関する要望活動を行いました。

■その他

- PFOS・PFOAの水質検査補助 37万円
- 荒廃森林整備事業 584 万円 など



松葉かき



地域資源を活かし発展するまち

■野生動物緩衝林整備事業 1,552 万円

野生動物とのすみ分けを図ることを目的に、不要木の伐採などの緩衝林の整備を行いました。

■観光推進事業 3,753 万円

観光協会が行うほろ酔いバスツアーなどの観光商品の開発支援など、観光振興に取り組みました。

■その他

- 農業施設整備 8,331 万円
- 漁業施設整備 47 万円
- 商工業の振興事業 6,805 万円 など



ほろ酔いバスツアー



人・つながりが育つまち

■岡垣サンリーアイ施設改修事業 5,704 万円

フィットネスジムの空調設備の更新など、施設を長く使うための工事を行いました。

■小・中学校施設整備事業 5億 4,590 万円

学校での児童生徒の安全確保と快適な環境の整備のため、体育館への空調設置・断熱改修工事や山田小学校の外壁と屋上防水の改修工事などを行いました。

■その他

- 学校施設適正配置検討事業 1,670 万円
- 体育施設整備事業 1億 5,142 万円 など



岡垣サンリーアイ



誰もが元気で自分らしく暮らせるまち

■核兵器廃絶平和の町宣言事業 271 万円

命の尊さや平和の大切さを考え、平和を願う機会として3年に一度の大規模イベントを実施しました。

■その他

- 子ども医療事業 1億 7,074 万円
- 高齢者福祉事業 1,969 万円
- 健診等事業 2,800 万円
- いこいの里管理運営 5,785 万円 など



核兵器廃絶
平和の町宣言事業



安全・快適に暮らせる持続可能なまち

■交通安全対策施設整備事業 2,392 万円

子どもたちが安全に通学できるよう、通学路にガードレールや柵などを設置する工事を行いました。

■海老津駅周辺整備事業 7,654 万円

町の玄関口である JR 海老津駅周辺の活性化のための整備に取り組みました。

■その他

●コミュニティバス・乗合タクシーの運行 1億 7,164 万円

●公園等管理事業 2,288 万円

など



計画推進の基盤

■公共施設等総合管理計画策定等事業 1,117 万円

令和9年度からの第2期計画期間に向け、基本的方針を定める計画改訂作業を進めました。

■その他

●まつり岡垣補助金 659 万円

●コミュニティ活動支援 1,011 万円 など

ライフステージに応じて子育てを支援！

おかがき子育て応援パッケージ

の主な事業



妊婦のための支援給付 1,874 万円

New!

妊娠の届出後に5万円、出産後に5万円をそれぞれ給付しました。



民間保育所・認定こども園等運営委託

8億 1,349 万円

待機児童の解消に向け、新たな保育所の設置を支援し、保育所定員を拡大しました。



小・中学校の給食費の補助など 4,011 万円

安全でバランスの取れた給食の提供と保護者の負担軽減のため、物価高騰での食材費の上昇分を補助しました。また、教育費が増加するといわれる中学生の保護者の負担を軽減するため、中学校給食費の半額を補助しました。



学童保育所運営委託 8,179 万円

利用児童数の増加に対応するため、海老津第三学童保育所を開設しました。



：乳児期



：幼児期



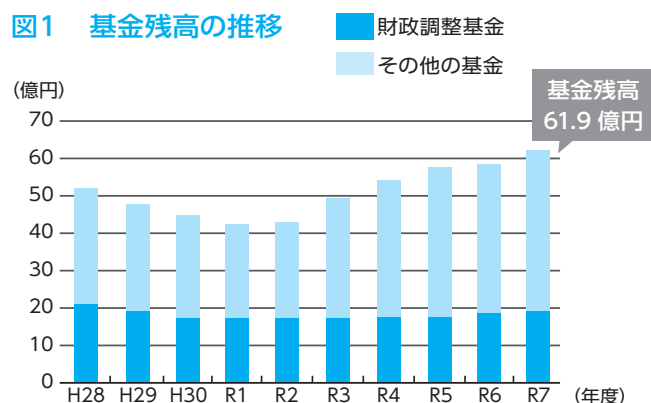
：学童期以降



基金と町債

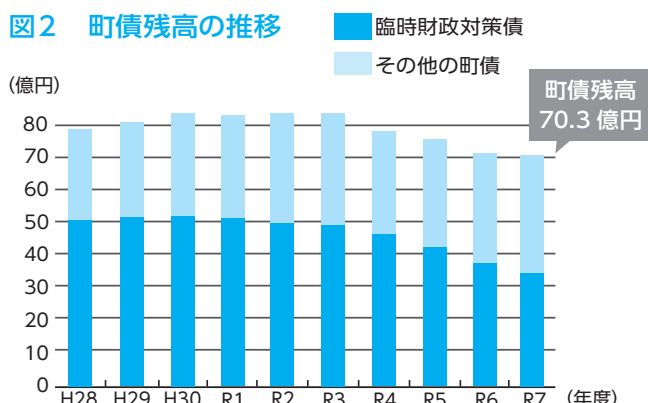
基金とは、条例で定めた目的のために資金を積み立てたもので、その残高の推移は図1のとおりです。令和7年度は、基金から3億4,655万円取り崩しましたが、積立額が7億2,295万円となったため、基金残高は前年度末と比較して3億7,640万円増加し、6年連続で増加しました。

図1 基金残高の推移



町債とは、施設整備などの事業資金を借り入れするもので、その残高の推移は図2のとおりです。令和7年度は、新たに7億4,670万円の借り入れをしました。一方、7億9,392万円を償還したため、町債残高は4,722万円減少しました。

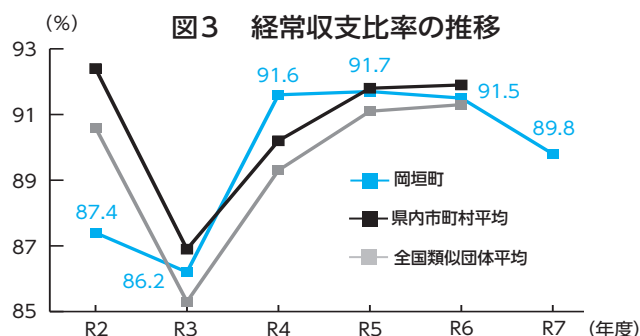
図2 町債残高の推移



経常収支比率

経常収支比率とは、財政状況の余力を示す数値のことです。人件費などの経常的に支出される経費と、町税などの経常的に収入される一般財源との比率で、数値が低いほど財政状況に余力があるとされています。

経常収支比率の推移は図3のとおりです。前年度と比べ1.7ポイント減少し、89.8%となりました。



今後に向けて

令和7年度の決算は、物価高騰対策や社会保障関係費の増加、小・中学校の空調整備などもあり、歳入・歳出総額ともに前年度より増加し、決算規模は歳入総額が過去最大、歳出総額が令和2年度決算に次いで過去2番目の大きさとなりました。今後も物価高騰の影響や社会保障費の増加、人件費の増加といった経常的な負担が、財政運営の大きな課題になると予測されます。さらに、道路などのインフラ施設や公共施設の老朽化対策、学校施設の建て替えなどの費用の増加に加え、公債費の負担が重なることで、厳しい財政状況が続く見込みです。

このような状況を踏まえ、今後の財政運営では、財政の健全性を確保しながら、人口減少など数十年先の岡垣町を見据えて今やらなければならないこと、そして、今暮らしている住民の幸福度を向上させる取り組みをさらに推進していきます。また、国の経済動向や政策を町の施策に反映させながら、長期的な視点で計画的な財政運営を行い、将来的な財政見通しを基に施策を進めていく方針です。こうした総合的な取り組みを通じて、「自然と共生する しあわせ実感都市 岡垣」の実現を目指していきます。





公営企業会計



■水道事業

	収益的収支	資本的収支
収入	5億5,887万円	1億8,280万円
支出	5億7,458万円	4億4,722万円

水道水を安心して使ってもらうための会計です。主な収入は水道料金で、主な支出は水道の施設工事費や浄水場・配水池の維持管理費です。

■下水道事業

	収益的収支	資本的収支
収入	8億2,273万円	2億5,529万円
支出	8億3,168万円	4億7,879万円

家庭から出る汚水を処理し、生活環境を清潔に保つための下水道の整備や維持管理を行うための会計です。主な収入は下水道使用料や受益者負担金、一般会計からの繰入金で、主な支出は下水道の施設工事費や浄化センターの維持管理費です。

※収支は税抜きの金額。収益的収支・資本的収支の不足額は、公営企業に留保している資金で補っています。



特別会計



■国民健康保険事業

収入	32億8,378万円
支出	31億2,486万円

国民健康保険加入者の保険給付や保健事業を行う会計です。主な収入は国民健康保険税や県からの補助金、一般会計からの繰入金などです。主な支出は保険給付費や国民健康保険事業費納付金などです。

■後期高齢者医療事業

収入	7億5,767万円
支出	7億3,178万円

後期高齢者医療制度の保険料の徴収などを行う会計です。主な収入は後期高齢者医療保険料と一般会計からの繰入金で、主な支出は後期高齢者医療広域連合への納付金です。

公営企業会計・特別会計

2つの公営企業会計と2つの特別会計の令和7年度決算額をお知らせします。